

別記様式（第3条関係）

会 議 録（1）

会議の名称	第3回桶川市協働審議会	
開催日時	令和8年2月16日（月） （開会）15時00分・（閉会）17時00分	
開催場所	桶川市役所 5階 全員協議会室	
主宰者の氏名	桶川市協働審議会 会長 佐藤徹	
議長の氏名	桶川市協働審議会 会長 佐藤徹	
出席者氏名 （委員）	佐藤徹、三浦匡史、秋山節子、平間康孝、稲元良作、内藤明、伊丹愛、木村尚之、臼田智子、青木敬一	
欠席者氏名 （委員）	-	
事務局職員 職名及び氏名	総務部：副部長・柿沼正修 自治振興課：課長・中野栄司、副課長兼係長・武藤晋、 主事・関口莉穂	
会議 事項	議 題	(1) 令和7年度桶川市協働推進提案事業 事業報告 (2) 令和8年度桶川市協働推進提案事業 第1次審査（書類審査）
	決定事項等	[決定事項] 令和8年度桶川市協働推進提案事業 第1次審査（書類審査）合格
配布資料	（当日） 1 次第 2 桶川市協働審議会委員名簿 3 第1次審査（書類審査）評価シート （事前） 1 事業完了報告書（令和7年度実施事業） ・べに花の郷・桶川ふるさと祭り 2 募集要項（令和8年度実施予定事業） 3 事業提案書概要（令和8年度実施予定事業） 4 事業提案書（令和8年度実施予定事業） ・住民主体の未来への地域づくり事業～おけがわ団地自治会発足50周年記念～ 5 事業提案書（令和8年度実施予定事業） ・まちの保健室ことこと 6 担当課からの意見書 7 桶川市協働推進提案事業の審査に関する取扱要領	

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	1 開会 ・ 配布資料の確認
議長	2 議題 ＜審議会の公開、非公開の確認＞ 桶川市協働推進条例施行規則第13条第4項には原則公開と規定しているが、委員に諮った結果、一部非公開とする。
議長	＜傍聴希望の有無の確認＞ ・ 傍聴希望希望者なし
団体	(1) 令和7年度桶川市協働推進提案事業 報告 ＜べに花の郷・桶川ふるさと祭り事業報告＞ 事業内容、市との協働による効果、その他の成果と今後の課題、決算等について説明。(当日の様子を動画により視聴)
議長	(2) 令和8年度桶川市協働推進提案事業 第1次審査(書類審査) 議題(2)について説明を求める。
事務局	審査基準等について説明。
議長	事業提案書「住民主体の未来への地域づくり事業～おけがわ団地自治会発足50周年記念～」について説明を求める。
事務局	事業提案書について説明。
議長	担当課(自治振興課)からの意見書の説明を求める。
事務局	意見書について説明。
委員	＜質疑応答＞ 市がテーマを提示し応募を受けた点は評価できる。問題意識の大枠は合致しているが、目的と手段の整合性がとれていないと感じる。高齢化・担い手不足・加入率低下等の課題に対し、セミナー等は先進事例や専門家の活用を検討し、発表だけでなく勉強する機会とすべきである。若い世代を取り込む事例など、市から情報提供し、問題意識と事業を噛み合うようにしていくべきである。

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	相談段階から協議を重ね、他地域への波及や自治会の必要性等について情報発信することを意識した内容へ調整した。また、セミナーでは外部講師の招聘も想定している。高齢化・担い手不足・加入率低下等の課題に対し、目的と手段の整合性が図れる事業としていきたい。
委員	行政が持っている情報を市民に提供し、協働事業として市から積極的に関わっていただきたいと考える。
事務局	今後、提案団体と協議する。
委員	加納地区との関係と制度変更の趣旨について知りたい。
事務局	地方自治法改正に伴い、本市では区長制度を令和8年度から廃止する予定であり、今後は自治会へ交付金し支援を行う予定である。加納地区との連携は交流拡大の趣旨である。
委員	提案書を見る限り若年層の関心喚起は難しいのではないかと懸念がある。自治会に魅力を感じて加入したいと思えるような提案を加え、成功例となる事業になることを期待する。
委員	従来事業の延長ではなく、「持続可能な運営基盤の再構築」という課題に結び付くかが重要であり、モデル事業としての実効性確保が求められる。
議長	事業提案書「まちの保健室ことごと」について説明を求める。
事務局	事業提案書について説明。
議長	担当課（人権・男女共同参画課、保育課、健康増進課）からの意見書の説明を求める。
事務局	意見書について説明。
委員	＜質疑応答＞ 個人情報取り扱いと、男性向けの事業について伺う。
事務局	個別相談窓口ではメール等により匿名でも対応が可能と考えるが、本人の同意があれば、法令に基づき個人の情報を管理いただく必要がある。また、当課がヒアリングをしている中では、健康にも関わる事業も含まれており、全ての世代や性別を対象にしている事業と認識している。

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	団体の設立目的に、学校・家庭との連携という言葉があり、今回対象の幼児以外にも児童・生徒等への教育も重要だと考えるが、対象にはならないのか。
事務局	性教育に関し学校等で統一的に学習させるというところは、まだ難しい部分もあると判断し、今回は団体の方で保育所をパートナーとして行いたいという提案に至ったという経緯がある。
委員	ユースクリニックも非常に良い取り組みだと思うが、必要としている年代にも情報が届くような周知の仕方を工夫することが重要だと考える。
事務局	周知方法について検討する。
委員	市の担当課として教育部局が入っていないが、学校側は関わらなくてもよいのか。また、性教育の既存事業と重複はしないのか。
事務局	庁内協働推進本部会議に教育部局も委員として参加しており、事業は把握している。今後行う事業が現在行っている事業と重複しないように、教育部局とは情報共有を図っていく予定である。
委員	どのような専門性を持った方々が団体に所属され、これまでどのような実績があるのか。また、担当課はこちらの団体が行っていたことを、事業や講座で把握されているのか。
事務局	会員には元養護教諭、看護師、日本思春期学会の性教育認定講師などが所属され、今年度は講演会や先進地の視察などを行っている。市にも保健師がいるが、市の職員も、団体が開催している講演会に出席した経緯がある。
委員	幼児を対象としている事業があるが、幼児が性教育を理解できるのか疑問がある。子どもたちが理解できるようにはどのような教え方をするのかを知りたい。
事務局	現在、公立の保育所にも、絵本を置くことや市の保健師による性に関するプログラムがある。団体からは、発達段階に応じ、嫌なものは嫌と言う、プライベートゾーンは隠すといったところから始まるといった幼児にも理解できる内容から行っていくことを確認している。

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	過去の事業の参加人数については重要な情報だと考えるため、これまでの取り組みのところに記載があれば更に良かった。第1次審査が合格となった場合には、第2次審査などでその内容が分かると良いと考える。
事務局	団体に報告する。
議長	< 審査 > 各委員の審査を求める。 ・ 評価シートの記載
事務局	< 事務局による評価の集計 >
議長	審査結果について報告を求める。
事務局	集計の結果、2事業ともに、35点満点中50%以上の評価点となることから、合格基準を満たした。
議長	「住民主体の未来への地域づくり事業～おけがわ団地自治会発足50周年記念～」、「まちの保健室ことごと」については、第1次審査合格とする。結果について市長に報告する。
議長	4 その他 事務局から説明を求める。
事務局	・ 今後の桶川市協働審議会の予定等について説明
	5 閉会